

令和元年8月21日

財政局税務部税制課

宿泊税について

◇北九州市宿泊税に関する調査検討会議について

1. 第3回「北九州市宿泊税に関する調査検討会議」の開催について

(1) 日時：令和元年7月30日（火）14：00～

(2) 場所：西日本総合展示場 新館3階 301・302会議室

(3) 検討事項

① 宿泊者アンケート調査結果

② 宿泊税の使途について

③ 北九州市宿泊税に関する調査検討会議報告書（素案）について

(4) 主な意見等

- ・北九州空港へのアクセスについて、小倉都心部とのノンストップ便を増やし、所要時間を短くすることでストレスを軽減することが必要である。
- ・アンケート結果では、ビジネス客が多いようであるが、これらの方々を観光客として取り込んでいくような施策・PRの方法を検討すべきであり、夜の飲食コンテンツの充実なども重要である。
- ・納税者（宿泊者）への還元など、短期的な視点も重要であるが、将来にわたる北九州市の賑わい創出など、長期的な視点でも取り組んでいくことが必要である。
- ・これまでは、ハード面の充実に力を入れてきたと思うが、今後は観光案内所の整備や観光人材育成など、不足しているソフト面での充実を図ることが必要である。
- ・宿泊税を財源とする取組の考え方のうち、3つ目の「既存施策への単純な充当は行わない」について、新規性や拡充などの効果があるか、十分検討した上で取り組むことが必要である。

2. 第4回「北九州市宿泊税に関する調査検討会議」の開催について

(1) 日時：令和元年8月6日（火）13：30～

(2) 場所：AIMビル 3階 311会議室

(3) 検討事項

① パブリックコメント結果

② 北九州市宿泊税に関する調査検討会議報告書（案）について

(4) 主な意見等

- ・ 宿泊税の使途について、これまでの本会議における議論の内容と、市民の意見がおおむね一致していると考える。
- ・ 修学旅行の課税免除については、見直し時には再度議論をする必要があるが、宿泊税に見合ったサービスが提供されれば必要はなく、しっかり取り組んでいくことが重要である。
- ・ 記載してある事業規模に囚われず、そのときの環境に応じて、柔軟性を持った使い方をして欲しい。
- ・ 今後の見直しに際して、モニタリングすることが重要である。

◇福岡県知事とのトップ会談について

(1) 日時：令和元年8月16日（金）11：00～

(2) 場所：福岡県庁 知事応接室

(3) 合意内容：資料3のとおり